

3月定例会 一般質問

村政を問う

一般質問とは定例議会において、各議員が住民の代表として行政全般にわたり村当局の考え方や疑問をたずねることです。

また、議員にとって政策の見直しや政策を提言する重要な活動の場です。

今回は、5人の議員が登壇しました。

質問者	質問事項	ページ
瀬谷 一男	① 台風19号の爪痕・復旧状況は	9
	② 新規作物の開発・定着状況は	
太田 清実	① 浜・中・会津友好交流協定締結後の方向性は	9
高橋 七重	① 公共施設跡地利用の計画は	10
	② 災害時の避難所環境整備は	
	③ 今秋開園のこども園 保護者から疑問の声が…	
三本松和美	① 財政について心配はないか	11～12
	② 本村における交通支援策は	
	③ 子育て中の親の健康は	
	④ ジュピアランド駐車場 土地買収結果は	
永瀬 成元	① 新しいこども園の送迎は	12



瀬谷 一男 議員

Q 台風19号の爪痕・復旧状況は

- ① 復旧状況は全体の何パーセントか。
- ② 今後の予定・計画は。
- ③ 財源の確保は。

A 復旧率約30% (3月末見通し)

▽地域整備課長

- ① 3月末で30パーセント台になる見込み。
- ② 2月末までに重機借上げ等修繕費で220件(3千900万円)、農用地等小災害復旧工事67件(2千万円)を発注。
- ③ 農林水産施設災害復旧工事15件(6千万円)、公共土木施設災害復旧工事21件(1億4千万円)、農地災害復旧工事(村単独)52件(6千万円)を3~5月にかけて発注予定。
- ④ 国庫補助金、起債事業費等を活用し、財源を確保する。予算規模は4億円を超える。

Q 新規作物の開発・定着状況は

- ① パイプハウス試験栽培の経緯・結果は。
- ② 薬草栽培農家の定着状況は。
- ③ 新規作物等の農家定着が進まない問題点はどこに。

A まだ十分な定着に至らず

▽産業課長

- ① レタスや水菜等の栽培歴を示し振興を図ってきた。しかし、十分な定着には至っていない状況。
- ② 栽培可能な段階。しかし、収益性、経営指針が確立されていないため推進できない状況。継続して六次化の検討をしていく。
- ③ 本格的な収穫までの年数、初期投資が大きいこと、価格での折り合い等がある。

Q 立地条件を生かし、評判の良い野菜などの面積拡大や新しい作物づくりをする考えはないか。

▽再
A 再
村長

見直す作業は、やらなければならない課題である。

Q 浜・中・会津友好交流協定締結後の方向性は

広野町・西会津町・平田村の各首長は、三町村の協力が構築されることは、住民の安心・安全に大きく寄与すると話している。
具体的なイベント・事業の検討は。



太田 清実 議員

A それぞれの

特性を生かした交流へ

▽総務課長

締結後、各町村のイベント等での出展ブースで、本村のPRを行った。村では、広野・西会津の町民にジュビアランド入場の優待を行い、交流人口の増加につなげていきたい。
各町村の特性を生かした交流は、災害時の対応でも有効なものと考ええる。



高橋 七重 議員

Q 公共施設跡地利用の計画は

廃校となった中学校、統合により廃園予定のこども園の活用、フィットネスクラブの移転先など、現時点での計画はどのようになってきているのか。

A まだ結論に至らず

▽総務課長

旧中学校校舎は一部校舎を除き、取り壊しを含め検討中。

旧蓬田中学校の敷地・旧小野高校平田校跡地・切山グラウンドを一体化した住宅地としての利用を検討中。

蓬田こども園は、放課後児童クラブとしての利用を検討し、小平こども園は取り壊しを考えている。フィットネスクラブは、中央公民館・保健センター複合施設の中に含めることを検討中。

施設の取り壊しには多額の費用が必要であり、財政状況も見ながら進める必要がある。

Q 災害時の避難所環境整備は

共同通信社が実施した「災害時の避難所環境アンケート」について、本村の回答はどのような内容か。そのための予算はあるのか。

A 財源の確保が困難

▽住民課長

「災害時に貴自治体内の指定避難所に身を寄せる避難者の生活環境について改善すべき点があるか」の問いに対し、「ある」と回答した。特に対応・改善が急がれる課題を12個の選択肢から次のものを選んだ（最大3つまで）。

「洋式トイレ設備、配備」

「温かい食事提供やメニューの充実」

「カーテンやテントなどによるプライバシー確保」

毎年、予算要求しているが、財源確保は難しい。

1月に開催した防災座談会において、住民自ら災害に備えるための手立て（食料品や生活必需品等の確保）を講じるよう、お願いしたところ。

Q 今秋開園のこども園

保護者から疑問の声が…

① 制服等の必要性はあるのか。

② 統合により変更となる制服等は、保護者の意見を取り入れたのか。おさがりの着用は認められないのか。

③ 年齢の小さい子ども達への影響を心配する保護者の声もある。なぜ、年度途中の開園にするのか。

A 行政サービスとしては十分なものと考える

▽教育課長

① 正装と意識させ自尊心や所属感を養うこと、また着脱の練習や身なりを整えること等、基本的生活習慣を身につける目的として活用。

② 機能性・価格等を参考に、両こども園で協議し決定した。保護者へは事前に周知し、好評を得ている。おさがりは認める考え。

③ 両こども園の老朽化による整備であり、少しでも早く、良い環境の中で園生活をスタートさせたい。



リニューアルしたこども園の制服



三本松和美 議員

Q 財政について心配はないか

石川地方生活環境施設組合負担金やこども園建築工事費、中央公民館複合施設整備など、多額の経費が計上されている。そのため、経常経費以外の支出の大幅減額や財政調整基金の繰入れなどが懸念される。この状況をどのように考えるのか。

A 計画的に行っている

▽総務課長

借入れに伴う将来の償還を見込んで、計画的に減債基金の積立てを行ってきた。余剰金が見込める場合には、その都度、積立てを行うとともに、決算剰余金についても2分の1を財政調整基金、減債基金に積立てを行っており、取崩しによる基金額の減少ばかりではない。

Q 本村における交通支援策は

いわき市で電気自動車の小型低速バスを利用した実証事業を行っているが、本村ではどのように考えるのか。また、交通弱者への支援策の考えは。

A タクシー利用助成事業の

周知を図る

▽住民課長

観光客の入り込みを含めた実証実験は、本格施行できれば注目されるが、スマートフォン所有者だけに限定されないかが懸念される。本村では、タクシー料金助成事業を平成29年度に試験運用、30年度から本格実施している。令和2年度は、1回の利用限度額を2千円から4千円に引き上げ運用を図る。

Q 再
近隣町村や交通関係会社との連携を図る考えはないか。

▽住民課長

A 再 これから検討する課題はタクシーではなく、生活路線バスの運行、運営方向についてであり、今後検討していく。

Q 子育て中の親の健康は

① 子どものいる世帯のうち、母子・父子家庭はどれくらいか。
② 親の健康状態を把握しているのか。

A 保護者に寄り添いながら
支援している

▽健康福祉課長

① 高校生以下の子どもを持つ世帯は421世帯。うち、母子・父子家庭は72世帯。(令和2年2月末現在)
② 産後の家庭訪問、各種健診・教室等の問診で親の健康状態を把握し、必要に応じて個別相談を実施している。
その他、随時相談窓口を設け対応している。



(※写真は質問内容とは関係ありません)

**Q ジュピアランド駐車場
土地買収結果は**

ジュピアランド駐車場拡張をめぐり、村民から不動産鑑定価格より高額で買収し、村に損害を負わせたとして、村長らに対して買収価格と鑑定価格の差額分の賠償を求める住民監査請求があった件について。

- ① 後付けの不動産鑑定は、誰がいつ依頼したのか。
- ② 不動産鑑定業者への委託料は、誰がいつ対応したのか。
- ③ ジュピアランド駐車場第2工区の買収を行う場合は、後付けの鑑定価格で行うのか。

A 長の決裁を仰いだもの

▽産業課長

- ① 執行者（村長）が、令和元年9月5日に請負契約、同年9月30日完成したものの。
- ② 村では予備費を充当したものを。
- ③ 隣接する土地の買収価格、その時の経済情勢などを見て、慎重に考えていきたい。

Q 新しいこども園の送迎は

新しいこども園の開園により、時間的・距離的負担が増し、不便性が発生し、若者が村外へ流出する可能性がある。
保護者の負担が軽減できるよう、バスによる送迎の考えはないか。



永瀬 成元 議員

A 現状のまま

▽教育課長

これまで通り、家族等に送迎いただき、家族と保育士が十分に引継ぎできる運営をしていきたい。

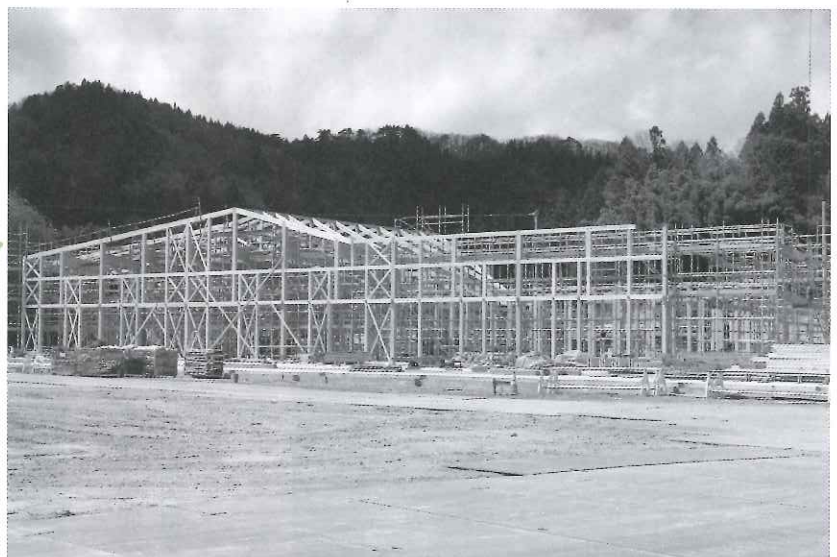
▽教育長

小中学校の教育活動と違い、こども園の場合、一斉の時間に帰すことが難しい。また、家族の仕事の状況から、一斉に帰した場合のバス利用は、7〜8名くらいと考える。

新しいこども園の建築工事が進んでいます。

現在、工事の進捗率は42%となっています。（4月20日現在）

木材をふんだんに使い、温もりが感じられるこども園は、今年の秋の開園を目指しています。



建築中のこども園（永田字広町地内）